

平成29年度
事業計画

社会福祉法人 北斗文化学園福祉会

平成29年度 事業計画

1. 事業年度

平成29年4月1日～平成30年3月31日

2. 施設

名称： ほくと保育園 ～ 児童福祉法(昭和22年法律第164号)第35条第4項に基づく児童福祉施設(保育所)

所在地： 北海道室蘭市高砂町3丁目11番48号

3. 事業の目的

- (1) 産休明けの乳児から就学前までの幼児を対象とし、就労等による保育を希望する家庭の育児支援を行う。また、子どもの発育過程に応じた保育を行い、保護者との情報交換を大切にしながら、心身ともに健やかに育成されるよう支援を行っていく。
- (2) 地域社会に貢献する取組として、地域の高齢者等を支援する福祉サービスを提供する。

4. 施設概要

- (1) 敷地面積 : 3,399.58㎡
- (2) 建築面積 : 1,451.44㎡
- (3) 延床面積 : 1,328.85㎡
- (4) 建物の構造 : 鉄筋コンクリート造 平屋建

(5) 定員

	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計
施設利用定員	12名	18名	24名	26名	35名	35名	150名
H29. 4.1入所児童数(予定)	9	28	28	25	34	36	160

(6) 職員数

・平成29年4月1日(予定)

(対H28増減 ▲1 +1 ▲1 +2)

職種	施設長	保育士	看護師	調理員	補助員	事務員	事務局	嘱託医(医・歯)	合計
在籍数	1名	38名	6名	6名	2名	1名	3名	2名	59名
(うち休職中)		(3名)							(3名)
(小計54名)									
(中計57名)									

・平成28年4月1日(実績)

職種	施設長	保育士	看護師	調理員	事務員	事務局	嘱託医(医・歯)	合計
在籍数	1名	39名	5名	7名	1名	3名	2名	58名
(うち休職中)		(2名)						(2名)
(小計53名)								
(中計56名)								

5. 保育課程

[別添資料を参照]

- (1) 保育理念～ 子どもひとりひとりを大切にし、保護者から信頼され、地域に根差す保育園を目指す
- (2) 保育方針～ 子どもが健康で安全に過ごせる環境を作り、子どもを心に受けとめ、様々な体験を通じて、豊かな心・主体性が育つよう援助する
- (3) 保育目標
- ①心身の健やかな子ども
 - ②人の話を聞け自分の思いを話せる子ども
 - ③思いやりのある子ども
 - ④友達と仲良く遊べる子ども
 - ⑤よく考えやり抜く子ども

(4) 年齢別保育目標

(このほか、歳児別に別途「養護」・「教育」・「食育」に区分した保育内容を設定する)

- ・0歳児 ～ 生活リズムを整え、信頼関係を築き、安定して生活する
- ・1歳児 ～ 興味が広がり、自分でしようとする気持ちが表われる
- ・2歳児 ～ 基本的な生活習慣が身に付き、自分で出来る力をつけていく
- ・3歳児 ～ 基本的な生活習慣の確立をめざし、思いを言葉や行動で表現する
- ・4歳児 ～ 保育者や友達と深く関わる中で、認め合い、自発的に行動し、集団としての行動がとれるようになる
- ・5歳児 ～ 就学に向けて期待が膨らむ中で、集団行動を通し、目標に向かって意欲的に取り組み、達成感を味わう

※ 特色ある保育

「1歳からの歯みがき(ウェルネスブラッシング法による)」、「茶道教室(5歳児)」、
「自然を体験(ビオトープで生き物を捕まえる:4・5歳児、畑づくり体験:3歳児)」、
「体力づくり:4・5歳児(サッカー教室ほか)」

6. 保育時間等:

開所時間 午前7時30分～午後7時30分
保育時間 午前8時30分～午後4時30分

7. 特別保育事業:

「乳児保育」、「障害児保育」、「病児保育(自園・体調不良児対応型)」

「延長保育」

①保育標準時間認定	18:30～19:30
②保育短時間認定	7:30～8:30及び16:30～19:30

8. 食育及び完全給食の実施

～食育の推進と安全・安心な食事を提供し、3歳以上児では継続して完全給食を実施する。
「食育だより」の発行

9. 安全、事故防止対策

～避難訓練(火災、地震など毎月)、「不審者侵入対応訓練(室蘭警察署の協力)」、
消防設備点検(年2回)、職員検便(毎月)、SIDS点検(0歳児:毎日)、
「ヒヤリハット集計・分析(四半期ごと)」、自主点検チェック表(毎月:安全点検、遊具)、

「お迎え時の保護者確認の徹底(H29.1月から専任の「補助員」を配置)」「新規」

10. 地域との交流

定款第3条第2項～

『地域社会に貢献する取組として、地域の高齢者等(障害者、子育て世代)に無料又は低額な料金での福祉サービスを提供する』

(1) 地域社会に貢献する取り組み〔新規〕

～保育園の施設・設備などを、地域の「高齢者と住民の交流の場」に提供する

- ・ステージや園庭などを町会・ボランティア等の行事に活用してもらう。
- ・年1回～2回程度
- ・基本的に無料

(2) 地域の人たちや様々な団体等との交流

- ・「お誕生会、観劇、発表会総練習」を公開
- ・地域のお祭りに児童が参加
- ・「室蘭市民オーケストラ」に練習会場を提供(夜間にホールを貸出し、H26から毎月2回程度)

11. 「小学校との連携」

～「保育園だより」と「学校だより」の交換・掲示、各校(高砂・水元・豊学校)の学芸会見学や児童交流フェスティバルへの参加、小学校参観日に参加(職員)

12. 主な行事予定

(1) 「恒例行事等」

～入園式、卒園式、お誕生会(各月)、豊学校との交流(各月)、餅つき(5月)、七夕会、夕涼み会、運動会(9月)、発表会(12月)、お茶会、ひな祭りのほか、健康診断、交通安全教室

(2) 「世代間交流」

～老人施設との交流、卒園児との交流、東翔高校プラスバンド部及び海星学院高校茶道部との交流

(3) 「その他」

～社会見学(「市場で買い物」ほか)

13. 職員研修(予定を含む)

～職場内及び外部研修の受講を通じて、職員の意欲や専門性の向上を図り、併せて、その成果が生かせるよう「キャリア・パス」を構築していく。

- ◆「職場内研修」～ ①OJT活用により、保育現場の実践に生かしていく。
- ②外部から講師を招き、さらなるスキルアップをめざした研修を実施する。

[外部講師を招く研修(職場内研修)のうち主なもの]

- ・「障がい児保育」研修(年3回程度実施、H27からの継続で3年目となる)
～伊達高等養護学校校長(小島義勝氏)『絵でわかること』
- ・「保育士のメンタルヘルス」(同上)
～保育心理士(元・愛和福祉会保育士 高橋宏輝氏)による研修